常勤特別職として政策統括官
副村長空席のままに質問
小林村長 副村長は来春3月提案

弥彦村6月定例会
3日目
6月10日

午前九時五十九分開会。提出議案に対する総括質疑を行い、令和元年度一般会計補正予算など十八件を所管の委員会に付託した。十時四十三分散会。散会後、競輪特別委員会を開いた。十一日は休会。十二日は総務文教、厚生産業の両常任委員会を開く。

提出議案は令和元年度補正予算三件、条例の制定・一部改正六件、専決処分八件、契約の締結一件。

副村長選任について答弁する小林村長

政策統括官の設置に関する条例の制定は、条例に基づく非常勤特別職の政策統括官を常勤特別職として条例で定めるもので、四月一日から山岸喜一前総務課長が務めている。

板倉恵一氏（けやきの会）は政策統括官の職務について改めて質問。志田警総務課長は「基本的に村長を補佐する役職として設置した。特に重要な施策に参画して処理に当たってもらう」と述べ、具体的には競輪事業の個別外部監査などを担当してもらうとした。

それに対して、板倉氏は「重要な案件と聞いたが、副村長という特別職がある。なぜ副村長でなく、政策統括官なのか」として、空席となっている副村長の選任について質問。

小林豊彦村長は「可決していただけるという確信がない限り、提案できなかった。副村長になっていただきたい方も役職、ほかの職業についている人で、否決された場合、責任の取りようがない」として、議会で副村長選任が否決される懸念があったため提案を見合わせたことを説明した。

政策統括官の設置については二期目に入って各種団体の役職に就き、会議などで役場にいないことが増えているとして「これ以上、村を空けるのでは村政が回らないと危惧して、議会に諮らずにできる役職として政策統括官を設けることにした」と説明。副村長の選任については「できれば来年三月の議会で提案をお願いしたい」と述べた。

各種保険適用
はやかわ
鍼灸・整骨院
三条市塚野目 ☎33-2343

その答弁に対して、板倉氏は山岸前総務課長を副村長に選任することを提案したが、小林村長は「既に六月に入って途中でお願いするのは難しい。三月の議会でお願いしたい。政策統括官については次はどうするのかは考えていない」と述べるにとどめた。

弥彦村六月定例会十日本会議総括質疑

専決処分の三十一年度一般会計補正予算では、農村環境改善センターのエアコン設置工事費一千六百七万一千円について**小熊正氏**（無所属）が質問。

志田総務課長は農村環境改善センターが避難所に指定されているため、ホールにエアコンを設置することを説明したが、小熊氏はホールは天井が高く、主に体育館として使用されていることを指摘し、「そこに冷暖房を設置すると、一定温度まで上げ下げするのにかなりの時間と経費がかかると思う。本当に必要があるのか」と疑問を示した。

小林村長は八月三十一日、農改センターで「弥彦村花角県民党」の設立集会を開くことを説明し、「本来なら、冷暖房がなければ避難所でない。弥彦村には一つもない。私も分かっていて、なかなかできなかった。避難施設なら起債が可能だと初めて知って、それなら知事も来るし、国から大臣経験者も来ると聞いているので、まずやってみようと思った。それから弥彦体育館、ヤホール、サンビレッジ弥彦と順次やっていきたい」と述べた。

冷暖房の効果について、丸山栄一農業振興課長は電気式のエアコン四基を設置し、風の流れを一定にして、早い時間で冷暖房できるように設計しているとした。

専決処分の三十年度一般会計補正予算では、**柏木文男氏**（けやきの会）が新潟空港二次交通整備事業補助金百八十四万円の減額補正に関して、他地区を含めた実績、今後のPR方法を質問。事業は新潟市西蒲区の岩室温泉と連携し、格安航空会社（LCC）を利用する関西圏の観光客を対象に新潟空港から弥彦、岩室へのタクシー料金を補助するもの。

実績について、高橋信弘観光商工課長は、弥彦・岩室が二十五便、三十六人、村上市瀬波温泉が三百六十一便、百三十八人、新発田市月岡温泉が二百九十四便、七百四十八人、佐渡市が二千九百二十便、五千六十人と報告。

一便当たりでは、弥彦・岩室は一・四四人、瀬波温泉は〇・三八人、佐渡市は一・七三人、月岡温泉は二・五四人として、小型タクシーを利用するため「一便当たりの費用対効果は悪くないかなと思う」とした。

PRでは伊丹空港と関西国際空港にブースを設けてPRを行ったほか、有名ブロガーを招いてのSNSを利用したPRを展開したことを説明し、「今年度に入って二か月ちょっとだが、予約を含めて二十七便と昨年度を超えている。七月から復路の運行も開始するので、かなり便数は伸びると期待している」とした。